



従来にはない深みのある金色・紫色漆 光輝性顔料による色漆塗膜の開発

技術分野分類 5402：高分子・繊維材料
技術キーワード (7)天然・生体高分子材料
産業分類 E-12：木材・木製品製造業

内 容	概 要	光の反射色や粒径の異なる複数種の光輝性顔料（金属コーティングした雲母材およびガラスフレーク材）を漆に配合して、漆塗膜の中に重なり合うよう均一分散させることにより（図 1）、従来にはない深み（奥行き）を感じさせる色漆塗膜を形成する。	
	従来技術・ 競合技術 との比較 （優位性）	従来の顔料では発色できなかった蒔絵のような豪華な金色や、宝石のような輝きの紫色の色漆塗膜を表す。 さらに、漆塗膜を加熱処理することにより、耐久性（硬度や耐洗浄性）を向上させることが可能である。	
	本技術の 有用性	貴金属の代わりに光輝性顔料を使用するため安価であり、耐久性にも優れており（図 2）、漆器の基調色として有用である。	
関連情報 （図・表・写真等）		 <p>金色漆塗り板 500倍の拡大写真</p> <p>銀色ガラスフレーク 金色雲母</p>	
		 <p>洗浄前 (80°C加熱した漆器)</p> <p>業務用食器洗浄機 1000回洗浄後</p>	
図 1 深みのある色漆塗膜形成の原理		図 2 熱水洗浄試験結果	
適用可能製品		漆および漆器製品	
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	梶井 紀孝（かじい のりたか） 繊維生活部 研究主幹	
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	企画指導部 076-267-8081 / 076-267-8090 kikaku@iriii.jp	

■知的財産 無

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2018 年 12 月 1 日